

企画県土警察常任委員会資料

(平成21年6月9日)

【その他の報告事項】

- 1 「山陰海岸ジオパーク」の取組状況について
【観光政策課】・・・1ページ

文化観光局

「山陰海岸ジオパーク」の取組状況について

平成21年6月9日
観光政策課

1 概要

- 昨年12月に山陰海岸地域を含む7地域が国内初となる日本ジオパークに認定
- 山陰海岸ジオパーク推進協議会では、世界ジオパークネットワーク加盟に向け、日本ジオパーク委員会から昨年示された課題の整理などに取り組み、日本ジオパーク委員会への申請に向け準備中
- 6月2日に山陰海岸ジオパーク3府県知事会議を開催し、申請書の骨子案について、共通認識を持つとともに、3府県でより一層連携・協力し推進していくことを共同でアピール

2 申請書骨子(案)の概要

(1) ジオパークテーマ

- 「日本海形成に伴う多様な地形・地質・風土と人々の暮らし」
*アジア大陸の時代から現在の地形までを地質年代毎に5テーマに分類

(2) 地形・地質学的特徴

- ① 日本海形成に関わる多様な火成岩・堆積岩層の分布とそれらの岩石海岸での露出
- ② 日本海沿岸の多様な海岸地形
- ③ 日本海形成後も引き続き火成活動による火山噴出物・火山地形
- ④ 第四紀における地磁気逆転期の発見サイト(玄武洞玄武岩)
- ⑤ 火成活動の影響を受けた豊富な温泉資源
- ⑥ 日本海沿岸で生じる第四紀地殻変動を示す活断層・海岸段丘

(3) 自然背景と人との関わりに関する特徴

- ① 日本海特有の水産物・景観、降雪などを活用した観光拠点としての位置づけ
- ② 鳥取砂丘の景観を維持するための草原化防止への取り組み
- ③ 地震災害とその復興(1925年北但馬地震・1927年北丹後地震・1943年鳥取地震)
- ④ 豊富な温泉資源の活用 など

<ジオパークの範囲等>

山陰海岸ジオパークは、山陰海岸国立公園を中心に、東は京丹後市の経ヶ岬から西は鳥取市の白兔海岸までの東西約110km、南北最大30kmのエリア
「鳥取砂丘」、「浦富海岸」等全体を13のジオエリアに分類

3 3府県知事共同アピールの内容

別紙「山陰海岸ジオパーク構想の推進について」のとおり

4 世界ジオパークネットワーク加盟に向けた今後のスケジュール

時 期	項 目
6月19日	世界ジオパーク候補申請締切り
7月上旬	第1回日本ジオパーク委員会開催 (申請地域によるプレゼンテーション実施)
7月上旬～9月下旬	日本ジオパーク委員会による申請地域現地調査
9月下旬	第2回日本ジオパーク委員会開催 (世界ジオパークネットワーク申請地域決定)
12月下旬	世界ジオパークネットワークに申請書提出
12月～翌10月頃	世界ジオパークネットワーク審査員による現地調査
翌10月頃	世界ジオパークネットワーク審査結果発表

3 府県共同アピール

山陰海岸ジオパーク構想の推進について

科学的に特別に貴重で美しい地質や地形などの地質遺産を保全するとともに、それらを教育や観光振興に活かすことを目的として、2004年にユネスコの支援により「世界ジオパークネットワーク」が設立され、現在、世界ジオパークの認定・加盟の取組みが進められている。

我が国においては、昨年12月に初めて、山陰海岸（京都府、兵庫県、鳥取県）を含む7地域が、日本ジオパーク委員会から国内版ジオパークとなる「日本ジオパーク」に認定されたところである。

日本海形成に関わる地殻変動のドラマを地形や地質に残す山陰海岸ジオパークは、降水量の多い温帯地域では珍しい海岸地形である鳥取砂丘、第四紀における地磁気の逆転が世界で初めて発見された玄武洞、活断層という言葉が初めて使われた丹後の郷村断層など、地球科学において貴重な遺産を有するとともに自然と共生する素晴らしい文化が息づいている。

京都府、兵庫県、鳥取県の3府県は、この山陰海岸ジオパークについて、より一層連携・協力し、地形・地質資源や自然環境の保護・保全に関する調査研究の充実、教育・ジオツーリズムの振興、観光産業等を支える鳥取豊岡宮津自動車道の早期整備や山陰本線の利便性向上などに取り組みながら、世界ジオパークネットワークへの加盟を早期に実現するとともに、世界にその素晴らしさを発信していくことをここに宣言する。

平成21年6月2日

京都府知事	山田 啓二
兵庫県知事	井戸 敏三
鳥取県知事	平井 伸治